

一般社団法人

難聴者音楽感受研究所



音の感じ方は人それぞれでも、音楽には感動を共有できる力があります。難聴者音楽感受研究所は、人が音楽から受ける恩恵を研究し、難聴者と健聴者の音楽聴取を補助し、人生を豊かにする環境を作り、文化と教育の振興に寄与することを目的として設立されました。



顧問

大沼直紀

医学博士

国立大学法人筑波技術大学名誉教授（元学長）



理事長

松本祐二

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 打楽器奏者
洗足学園音楽大学 講師

一般社団法人難聴者音楽感受研究所
〒359-1133埼玉県所沢市荒幡888-11
TEL&FAX 050-1583-2520
メール onkan.jp@gmail.com
URL <http://matsum4.wix.com/kanjyuken-music>



主な活動

学術発表・論文

【国内】

- ・人工内耳友の会会報；「音楽感受研究所便り」を連載
- ・日本音楽療法学会学術大会；2009年～2012年、2015年研究発表
- ・洗足論叢（2011年度）；『人工内耳装用者が音楽聴取的満足を得る為の研究』
- ・東京大学先端科学技術研究センター；「聞えのバリアフリー・シンポジウム」（2012年2月）
- ・音楽療法学会国際会議；「人工内耳装用児のための音楽活動支援」（2017年7月）

【国外】

- ・International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies（韓国ソウル2013年6月）
- ・Asia Pacific Symposium on Cochlear Implants and Related Sciences（インド2013年11月）
- ・International Conference on Cochlear Implants and Other Implantable Auditory Technologies（ミュンヘン2014年6月）

実験・リハビリ



- ・生演奏の聴取実験（年間を通し随時）
- ・ミュージック・ラボルーム（2003年～2004年）
- ・ミュージック・ラボルーム追跡調査（2007年度）
- ・補聴器装用児の音楽ワークショップ（2014年から毎年8月）
- ・小学生音楽作り授業（2014年～）
- ・人工内耳装用児の為の音楽聴取向上法の研究
～療法的音楽活動が与える影響～（2016年～）
- ・東京医科大学人工内耳センター「親子レク」（2016年～）

演奏会

- 定期公演
2006年から毎年3月開催
- 地方公演
2007年2月浜松公演
2007年6月横浜関内公演
2009年2月刈谷公演
2010年2月赤穂公演
2010年11月京都公演
2011年1月信州大学病院公演
2012年1月まつもと芸術館公演
2012年10月大阪公演
2012年11月北辰館公演
2013年11月北辰館公演
2014年3月長崎公演
2014年11月沖縄公演
2016年3月岡山公演
2016年10月福山公演
2017年3月長野市芸術館公演



沿革

2001年洗足学園音楽大学内に於いて人工内耳と音楽についての研究を開始
2007年「音楽感受研究室」を同大学内に設置し、聴覚障害者の音楽聴取向上法の研究を開始
2013年同大学附属音楽感受研究所を設置。
2015年一般社団法人難聴者音楽感受研究所を設立し、聴覚のバリアフリーを目指した研究活動を開始

社会的評価及び貢献

【社会貢献】

音楽を楽しもうとするものの、中途失聴や難聴により、個人では乗り越え難い壁が生じている人（小児、成人、高齢者）に対し、安心して音楽を味わい、学べる機会を提供する

【テレビ放映】

東京MX-TV「ガリレオチャンネル」『よみがえる音の世界～人工内耳による聴覚の回復～』
2001年12月9日放送
テレビ神奈川「ニュース930」『人工内耳で音楽を楽しむ』2006年3月31日放送
NHK教育テレビ「ろうを生きる難聴を生きる」『人工内耳・心のケア』2009年11月29日放送

【新聞掲載】

読売新聞『人工内耳の人に音楽を』2006年3月22日掲載
東京新聞『音楽の素晴らしさを楽しんで』2007年3月20日掲載
毎日新聞『人工内耳-音楽を楽しめる可能性も』2009年8月18日掲載
中日新聞『人工内耳に澄んだ響き 難聴児らに音楽会』2012年1月8日掲載
沖縄タイムス『難聴者ら音楽を体感』2014年11月24日掲載
琉球新報『音聞きやすく工夫 人工内耳配慮 那覇で音楽祭』2014年11月29日掲載

【研究助成採択】

私学学術研究振興資金（2005年度、2007年度、2015年度）
子ども夢基金（2015年度、2016年度）
ロームミュージックファンデーション（2016年度）

社会的要請・独創性、及び効果

【健聴者に対する音楽感受尺度の作成】

デシベル(dB)やヘルツ(Hz)以外の、音楽感受に関する聴能尺度の作成。
効果⇒医療、教育、療育に役立つ。各現場での応用。

【人工聴覚使用者（補聴器・人工内耳装用者等）に対する音楽リハビリの充実】

人工聴覚使用者の楽器音弁別訓練。聴こえのバリアフリーを目的とした演奏会の開催。
効果⇒一般教育に役立つ。特殊教育分野への応用。

【聴覚障害者に対する音楽聴取補助の研究】

補聴器使用者のコンサートホールにおけるハウリング問題を言語補聴システムの応用により解消。
効果⇒聴覚障害者と健聴者が音楽による感動を共有する。コンサートホール以外でも応用。

音楽感受合奏団(おんがくかんじゅがっそうだん)

音の感じ方は人それぞれでも、音楽には感動を共有できる力があります。難聴者と健聴者が一緒にこの力を受けるにはどのようにすればよいかを考え、2001年より聴覚のバリアフリーを目指した音楽の研究活動を続けています。国内外各地で演奏活動している音楽家で結成された「音楽感受合奏団」は、聴く楽しみをもたらす、美的でユニークな演奏をいたします。



松本祐二(まつもと ゆうじ); 打楽器

1990年から1993年にかけてベルリン、ブルガリア、マレーシア、シンガポールなどの打楽器アンサンブルツアーに参加し、1994年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。1996年洗足学園音楽大学講師に就任。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団打楽器奏者、洗足学園音楽大学講師、洗足学園音楽大学附属音楽感受研究所研究長、パステル音楽院ドラム科講師、一般社団法人難聴者音楽感受研究所理事長。



丸山典子(まるやま のりこ); ピアノ&作曲

洗足学園音楽大学ピアノ科卒業。
在学中、ヨーロッパ研修に参加。公立中学校音楽科教諭となる。これまでに、オーストリア、フランス、ハンガリー、イギリスで研鑽を積む。日本音楽療法認定音楽療法士(補)。ピアノを遠藤比佐、岡山京子、落合千代子、渡辺健二、分離唱を佐々木基之、音楽療法を塩谷百合子、二俣泉の各師に師事。現在、公立高等学校音楽科講師。



城倉かほる(じょうくら かほる); 歌&語り

洗足学園音楽大学卒業。二期会会員。カワイうたのコンクール審査員。カワイ音楽研究会講師。
全国童謡歌唱コンクール関東甲信越決勝大会優秀賞(第2位)、全国「叱られて」歌唱コンクール審査員特別賞、山手の丘音楽コンクール第3位、。2005～2010年NHKおかあさんといっしょ「ぐ〜ちょコランタン小劇場」「ぐ〜ちょコランタンとあそび」歌のおねえさんとして全国のコンサートに出演。



河野直樹(こうの なおき); 役者&語り

山梨県南アルプス市出身。
20代から舞台俳優としての活動を始め、その後劇団双数姉妹に所属。
舞台活動を続ける一方、最近ではテレビドラマ、映画への出演、番組ナレーション、朗読など、活動の幅を広げる。
今年10月には、全編即興で構成する舞台に出演予定。



伊藤倫子(いとう のりこ); フルート

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。在学中に安宅賞受賞。フルートを峰岸壮一、小泉剛 室内楽を中川良平の各氏に師事。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に在籍。
2007年、ジョン・ミョンファン率いるアジア・フィルのツアーに参加。
演奏活動の傍ら、ジュニアオーケストラ、アマチュアオーケストラの指導に力をいれている。



黒田紀子(くろだ のりこ); ファゴット

武蔵野音楽大学卒業。ファゴットを境野達男、岡崎耕治の両氏に、室内楽を山本正治氏に師事。千葉県同窓会支部主催新人演奏会出演、みなとみらいオペラプロジェクトオーケストラ部門合格。イタリアセルモネータにおいて、Sergio Azzolini、ローマ歌劇場首席奏者Pasquale Marono両氏のマスタークラス受講。現在は、フリーのファゴット奏者としてオーケストラ、吹奏楽などでの演奏をする傍ら各地中学、高校などで指導にあたっている。ファゴットアンサンブル『ACERO』、木管五重奏『暁クインテット』、『TAD WIND SYMPHONY』各メンバー。



平木仁(ひらき ただし); トランペット

神奈川県出身。桐朋学園大学卒業、同研究科修了。研究科在籍中に東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。1997年より2年間ミラノに留学、1998年にはスカラ座オーケストラ・アカデミーに在籍する。これまでにトランペットを田宮堅二、ジュゼッペ・ボダンツァ(元スカラ座首席)の両氏に師事。
現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団トランペット奏者、昭和音楽大学で講師を務める。



畑野誠司(はたの せいじ); チェロ

10歳よりコントラバスを始める。千葉県立津田沼高校音楽コースに入学しチェロに転向。
1988年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。1991年から2001年まで首席奏者を務める。1991年第1回出光音楽奨励奨励賞受賞。チェロを堀了介、アンナー・ビルスマ各氏に師事。
バロックチェロ・通奏低音奏者としても活動している。



秋場一宏(あきば かずひろ); 打楽器

北海道雨竜町出身。
これまでに日本フィルや東京シティ・フィルなど多数の演奏会に出演。海外公演も多くドイツ、オーストリア、ベルギー、アメリカなど各国でいずれも好評。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団団員。
アプリコシンフォニーオーケストラ打楽器トレーナー。



粕谷友美(かすやともみ); 打楽器

3歳よりピアノ、10歳より打楽器を始める。桐朋学園大学打楽器専攻卒業、同研究科修了。打楽器を佐野恭一、細谷一郎、マリンバを安倍圭子、各氏に師事。フリー打楽器奏者としてオーケストラ、アンサンブル等、国内外の演奏会に出演。クラシックをはじめ様々なジャンルで幅広く活動している。また中学校、高等学校など、後進の指導も意欲的に行っている。



岡田勇輔(おかだ ゆうすけ); 照明

株式会社川本舞台照明取締役。1998年「リスボン万博日本館」、2006～2011年国際交流基金主催「邦楽公演アメリカ・ヨーロッパツアー」、2007年～「小曽根真ソロ公演・ビッグバンド公演全国ツアー」、2010年「ル・ジュルナルド・パリ」、2013年～加古隆、辻井伸行、レ・フレールによる「THE PIANIST」、2014年日本オペラ振興会「春琴抄」等、様々なジャンルの照明を手掛ける。